

聖霊降臨後第7主日特禱（特定12）

永遠にいます全能の神よ、あなたは常にわたしたちたちの祈りに先立って聞き、わたしたちが願うよりも多く与えようとしておられます。どうか豊かな恵みを注ぎ、わたしたちを赦して良心の恐れを除き、あえて願えない良いものを与えてください。み子イエス・キリストのいさおととりなしによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 創世記 18章 20-33節

20 主は言われた。

「ソドムとゴモラの罪は非常に重い、と訴える叫びが実に大きい。 21 わたしは降って行き、彼らの行跡が、果たして、わたしに届いた叫びのとおりかどうか見て確かめよう。」

22 その人たちは、更にソドムの方へ向かったが、アブラハムはなお、主の御前にいた。 23 アブラハムは進み出て言った。

「まことにあなたは、正しい者を悪い者と一緒に滅ぼされるのですか。 24 あの町に正しい者が五十人いるとしても、それでも滅ぼし、その五十人の正しい者のために、町をお赦しにはならないのですか。 25 正しい者を悪い者と一緒に殺し、正しい者を悪い者と同じ目に遭わせるようなことを、あなたがなさるはずはございません。全くありえないことです。全世界を裁くお方は、正義を行われるべきではありませんか。」

26 主は言われた。

「もしソドムの町に正しい者が五十人いるならば、その者たちのために、町全部を赦そう。」

27 アブラハムは答えた。

「塵あくたにすぎないわたしですが、あえて、わが主に申し上げます。 28 もしかすると、五十人の正しい者に五人足りないかもしれません。それでもあなたは、五人足りないために、町のすべてを滅ぼされますか。」

主は言われた。

「もし、四十五人いれば滅ぼさない。」

29 アブラハムは重ねて言った。

「もしかすると、四十人しかいないかもしれません。」

主は言われた。

「その四十人のためにわたしはそれをしない。」

30 アブラハムは言った。

「主よ、どうかお怒りにならずに、もう少し言わせてください。もしかすると、そこには三十人しかいないかもしれません。」

主は言われた。

「もし三十人いるならわたしはそれをしない。」

31 アブラハムは言った。

「あえて、わが主に申し上げます。もしかすると、二十人しかいないかもしれません。」
主は言われた。「その二十人のためにわたしは滅ぼさない。」

32 アブラハムは言った。

「主よ、どうかお怒りにならずに、もう一度だけ言わせてください。もしかすると、十人しかいないかもしれません。」

主は言われた。

「その十人のためにわたしは滅ぼさない。」

33 主はアブラハムと語り終わると、去って行かれた。アブラハムも自分の住まいに帰った。

詩 編 第 138 編

- 1 神よ、わたしたちは心を尽くしてあなたに感謝し // もろもろの神の前であなたをたたえる
- 2 あなたの尊い宮に向かってひれ伏し、慈しみとまことのゆえにみ名に感謝を献げる // あなたは約束を果たし、み名をすべてにまさるものとされた
- 3 わたしが叫びを上げたとき、あなたは答え // わたしの魂の中に力を増してくださった
- 4 主よ、国々の王はあなたに感謝をささげる // あなたのみ言葉を聞いたから
- 5 彼らは主のみ業を喜び歌う // 「主の栄光は偉大」と
- 6 いと高き主は、へりくだる人に心を留め // 高ぶる者には近づかれない
- 7 苦しみの中にあるときも、あなたはわたしの命を支えられる // み手を延ばして敵の怒りを退け、右のみ手でわたしを救われる
- 8 主は、私に約束されたことを、すべて成し遂げられる // 主よ、あなたの慈しみは永遠、み手の業を見捨てないでください

使徒書 コロサイの信徒への手紙 2 章 6-15 節

6 あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。 7 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい。 8 人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。それは、世を支配する霊に従っており、キリストに従うものではありません。 9 キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、 10 あなたがたは、キリス

トにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です。 11 あなたがたはキリストにおいて、手によらない割礼、つまり肉の体を脱ぎ捨てるキリストの割礼を受け、 12 洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。 13 肉に割礼を受けず、罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださったのです。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、 14 規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。 15 そして、もろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストの勝利の列に従えて、公然とさらしものになさいました。

福音書 ルカによる福音書 11 章 1-13 節

1 イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。 2 そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。

『父よ、

御名が崇められますように。

御国が来ますように。

3 わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。

4 わたしたちの罪を赦してください、

わたしたちも自分に負い目のある人を

皆赦しますから。

わたしたちを誘惑に遭わせないでください。』」

5 また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいる、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。 6 旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』 7 すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』 8 しかし、言うておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。 9 そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。 10 だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。 11 あなたがたの中に、魚を欲しがると子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。 12 また、卵を欲しがると、さそりを与える父親がいるだろうか。 13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」